

# 受講申込書

ふりがな 氏名	
住所	(県民カレッジ単位希望者のみ記載してください) 〒
電話番号	

受講を希望する講座に○をつけてください(複数可)

	日	講演題	講師	講座内容
<input type="checkbox"/>	5/20 (土)	<b>歴史を追う! 人はどうやって巨 大な仏像を鑄造 したのか</b> —中国三星堆の銅 像から飛鳥・天 平そして江戸の 大仏まで—	<b>三船 温尚</b> 富山大学 芸術文化学部教授	古代に始まった鑄造技術は、現代の自動車エンジンなどの工業鑄造にまでつながっています。古代工芸技術で、大規模近代産業にまで発展したのは鑄造だけです。古代鑄造の驚くべきところは、「精緻な文様」・「複雑な形」・「大型化」の三つですが、そのなかで、東アジア三千年の「大型の銅像鑄造技術」の変遷を解説します。具体的には、三星堆仮面、蟹満寺釈迦如来坐像、東大寺大仏、東大寺八角燈籠、江戸大仏などについて順に解説し、人のものづくりの知恵と情熱、つくられた社会背景などを交えてお話しすることで、技術史のパズルを埋めていきます。
<input type="checkbox"/>	6/17 (土)	<b>越中の学問と遊戯</b>	<b>磯部 祐子</b> 富山大学 人文学部長・教授	江戸後期、人々はどこで何を学び、どのような知識を得ていたのか。また、越中はどのような文人を生み出したか。当時の学問環境を概観しながら、深い漢学の知識を持って知的遊戯を楽しんだ寺崎蛸洲を取り上げ、その文、笑話、浄瑠璃などを紹介します。作者の関心は、国内のみならず、世界にまで広がっていたことにきっと驚いていただけるものと思います。
<input type="checkbox"/>	6/24 (土)	<b>映画の解剖学</b> —映画を批評的、 分析的に観る—	<b>藤田 秀樹</b> 富山大学 人文学部教授	映画の分析においては、カメラワークや照明などの表現技法、物語の構造、登場人物の造型や台詞などに込められた意味を丹念に拾い上げながらも、社会や時代のどのような思想、願望、不安などが作品に流れ込んでいるか、それらが作中でどのようにもつれあっているか、といったことを探っていきます。今回は、アメリカ映画の歴史において大きな転換点となる1960年代末期の映画、特に『真夜中のカーボーイ』(1969)という作品を取り上げてみます。
<input type="checkbox"/>	7/8 (土)	<b>村上春樹ファン タジーのイデオ ロギー</b>	<b>西田谷 洋</b> 富山大学 人間発達学部教授	村上春樹の短編小説には教科書教材として親しまれるファンタジーも多くあります。そこで、本講座では「鏡」と「バースディ・ガール」を選び、ファンタジー的な世界構造とそれを成り立たせている言語表現の秩序を探ってみたいと思います。この二作は、いずれも過去の不思議な体験を語り手もしくは主人公が回想し、不思議な体験とは何だったのか考えさせる点で共通しています。しかし、言語表現の形式では異なっており、その細部を丁寧に読み味わっていきたいと思います。

※取得した個人情報、本講座以外の目的で使用することはありません。